

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
1. 病院事業	1. 事業概要 (1) 総括事項 平成30年度の病院事業は、町内唯一の医療機関として、入院、外来及び救急指定病院の役割を担い救急患者の対応に努めたほか、保健・予防活動として町保健福祉課との連携により、特定健診などの各種検診業務等を行った。 患者の利用状況については、一般病床及び療養病床を併せ、1日当り入院は32.4人で前年度比1.6人(4.7%)の減、外来は80.9人で前年度比6.0(6.9%)の減となった。また、訪問看護事業は延べ163人で前年度比41人(33.6%)の増となった。 収益勘定の医業収益では、入院が204,199千円で前年度比15,610千円(7.1%)の減、外来は149,404千円で前年度比4,195千円(2.7%)の減となった。訪問看護事業は1,011千円で前年度比263千円(35.2%)の増となった。これに、その他の医業収益34,377千円を加えると平成30年度の医業収益は388,990千円、医業外収益は他会計負担金の減などにより451,298千円で、病院事業収益合計では840,288千円となり前年度比で34,103千円(3.9%)の減となった。 医業費用では、医師1名の減等により給与費が569,866千円で前年度比38,247千円の減、材料費は56,201千円で前年度比2,251千円の減、経費は常勤医1名減を補うための出張医師依頼の増で160,086千円で前年度比16,580千円の増となった。 減価償却費は69,292千円で2,207千円の減、医業費用合計では859,318千円となり前年度比27,356千円の減となった。 医業外費用は、36,598千円で前年度比6,796千円の増となり、病院事業費用の合計は895,916千円で前年度比20,560千円(2.2%)の減となった。そのうち一般会計から収益的収支に対する負担金として430,000千円(前年度比12,994千円減)を繰り入れたが、収支差引では55,628千円の赤字決算となり、未処理欠損金は前年度末残高809,238千円と合わせて864,867千円となった。 資本勘定の収入では一般会計からの出資金57,629千円、国保会計繰入金4,050千円、企業債103,800千円を借入れし、収入全体で165,479千円となった。支出では有形固定資産購入に24,202千円、病院改修費に98,716千円、企業債償還金支払いに56,777千円を支出し、資本的収支全体では179,695千円(前年度比96,413千円増)となり、不足する額14,216千円は過年度・当年度損益勘定留保資金を充当した。 医師体制については、4月から札幌医科大学医学部呼吸器アレルギー内科より、前年の加藤内科医長の代わりに塩野谷内科医長の派遣を頂き、4人の常勤医師体制でスタートしたが、6月末で秋野内科部長が退職し、常勤医師が3名となり医師体制が不安定となったが、週1回(1泊2日基本)非常勤で佐藤医師を採用しながら、11月からは諫山診療部長を迎え、入院、外来、健診等の診療対応を図ることができた。また、休日等は札幌医科大学等の支援を得ながら医師の安定確保を図った。短期医師については、整形外科診療は市山医師に、泌尿器科診療は協会病院に、眼科診療は北海道大学に診療を依頼し行った。 年度末の職員数は66人であり、その内訳は正職員41人、臨時職員25人である。 こうした体制のもとで病院経営は、一般会計からの繰り入れを除く実質赤字額は485,628千円となり赤字額は前年度比549千円の増となった。 総務省が示した「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、当院でも平成28年度「新公立病院改革プラン(平成29年度～32年度)」の策定を行い、経営の効率化や再編・ネットワーク化、運営形態等を模索検討した中、病床の運営形態を60床(一般40、療養20)の内10床を減床、かつ療養を廃止することとし、平成30年7月1日から50床を一般病床として新たな病床運営をスタートさせることとした。 今後とも地域における医療を守るために、医師の安定確保を図りながら、信頼

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績												
	される医療の提供と患者サービスの向上、新公立病院改革プランに基づいた経営の効率化等に努め、更なる経費の節減と増収、増益に意を用い、経営の健全化に努めていかなければならない。 ①診療体制 ・医師体制について 内科 5人（常勤4人、非常勤1人） ・出張医関連医局等 眼科外来～北海道大学医学部眼科学分野 泌尿器科外来～帯広協会病院泌尿器科 整形外科外来～帯広整形外科医師 札幌医科大学呼吸器アレルギー内科、神経内科 旭川医科大学麻酔・蘇生科 ・病床の再編（削減）～平成30年7月1日より 60床（一般40、療養20）を50床（一般）へ再編 ②保健予防活動 町民の保健予防活動については、保健福祉課との連携により行われた。 日帰り人間ドック・特定健診・がん健診 各学校・各職場健康診断 各種予防接種 健康相談会 広報活動 町広報「病院だより」・出前講座「医師による健康講話」 ③経営安定対策 病院事業の経営改善計画に基づき、経営会議と院内会議を継続的に開催し、収益の向上と経費の節減に向けた対策、病床数の再編（削減等）検討を行った。 また、医療事務の一部委託、清掃業務及び警備業務、公用車運転業務、調理業務などを当年度も全面委託し経費の節減に努めた。 ④建設改良事業 診療充実に向けた建設改良、有形固定資産購入を次のとおり整備を行った。 ・建物改良整備 5件 98,716,000円 ・医療機器整備 14件 24,202,200円 （詳細は、2. 資産の取得及び処分（1）資産の取得・器械備品等の取得欄に記載のとおり） ⑤収支決算 入院及び外来の患者数、収益とその他医業収益については、入院、外来とも患者数の減により、医業収益は対前年度比で17,363千円の減となった。 また、費用では医師1名の減等により給与費等が減となり、費用合計では対前年度比で20,560千円の減で55,628千円の赤字決算となった。 当年度総収益 840,288,519円 当年度総費用 895,916,852円 当年度純損失 55,628,333円 当年度未処理欠損金 864,866,737円 ⑥一般会計と国保会計からの負担金・補助金、及び企業債借入金 収益的収支 <table> <tr> <td>一般会計</td><td>430,000,000円（前年度442,994,000円）</td></tr> <tr> <td>計</td><td>430,000,000円（前年度442,994,000円）</td></tr> </table> 資本的収支 <table> <tr> <td>一般会計</td><td>57,629,000円（前年度 56,269,000円）</td></tr> <tr> <td>国保会計</td><td>4,050,000円（前年度 4,050,000円）</td></tr> <tr> <td>企業債</td><td>103,800,000円（前年度 0円）</td></tr> <tr> <td>計</td><td>165,479,000円（前年度 60,319,000円）</td></tr> </table>	一般会計	430,000,000円（前年度442,994,000円）	計	430,000,000円（前年度442,994,000円）	一般会計	57,629,000円（前年度 56,269,000円）	国保会計	4,050,000円（前年度 4,050,000円）	企業債	103,800,000円（前年度 0円）	計	165,479,000円（前年度 60,319,000円）
一般会計	430,000,000円（前年度442,994,000円）												
計	430,000,000円（前年度442,994,000円）												
一般会計	57,629,000円（前年度 56,269,000円）												
国保会計	4,050,000円（前年度 4,050,000円）												
企業債	103,800,000円（前年度 0円）												
計	165,479,000円（前年度 60,319,000円）												

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績							
	収益的及び資本的収支の合計 一般会計 487,629,000円 (前年度499,263,000円) 国保会計 4,050,000円 (前年度 4,050,000円) 企業債 103,800,000円 (前年度 0円) 計 595,479,000円 (前年度503,313,000円)							
	(2) 議会の議決事項							
	議会	議案	件名				議決年月日	
	定例第3回	認定第9号	平成29年度病院事業会計歳入歳出決算認定				平成30年 9月13日	
	定例第4回	議案第19号	平成30年度病院事業会計補正予算(第1号)				平成30年12月19日	
	定例第1回	議案第23号	平成31年度病院事業会計予算				平成31年 3月15日	
	臨時第2回	承認第3号	平成30年度病院事業会計補正予算(第2号)				平成31年 3月29日	
	(3) 職員に関する事項							
	職種別	29年度末 H30.3.31 現在	30年度末 H31.3.31 現在		平成30年度中の異動			
			総数	内臨時	転入		転出	
	採用	異動			退職	異動		
	医 師	5	5	1	塩野谷 H30.4.2 佐藤夏 H30.4.23 諫山 H30.11.1		秋野 H30.6.30 塩野谷 H31.3.31	
	薬 剤 師	1	1					
	臨床検査技師	2	2	1				
	放射線技師	2	3	1	渡辺博 H31.2.1			
	理学療法士	1	1					
	臨床工学士	2	2					
	看 護 師	26	24	3			船戸 H30.9.30 瀧村・藤本 H31.3.31	渡辺真 H30.4.1
	准 看 護 師	10	11	8		奥 H30.4.1		
	看護補助員	10	10	10				
	栄 養 士	2	2		加藤・巽 H30.7.1		白石 H30.6.30	堀部 H30.7.1
	薬 剤 助 手	1	1	1				
	理 療 助 手	0	0					
	事 務 員	4	4			川岸 H30.4.1		桑原 H30.4.1
	計	66	66	25				
※平成30年度転出者の内、平成31年3月31日付け退職者は、平成30年度末総数に含める。								
※清掃員4人、警備員2人、医療事務員7人、雑役業務1人、給食調理員4人、計18人は民間委託。								

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績						
	2. 資産の取得及び処分						
	(1) 資産の取得・器械備品等の取得						
	空調設備改修工事	1式	85,000,000円				
	ナースコール設備改修工事	1式	11,150,000円				
	避難誘導灯改修工事	1式	708,000円				
	ボイラー室地下重油配管更新整備	1式	1,150,000円				
	天井吊アウトレットホース更新整備	4式	708,000円				
	生化学自動分析装置	1式	8,520,000円				
	電気製氷機	1台	252,200円				
	個人多用途透析装置	1式	3,050,000円				
	セントラルモニター	1式	2,580,000円				
	輸液ポンプ	2式	376,000円				
	超音波診断装置	1式	4,400,000円				
	温冷配膳車	1式	1,150,000円				
	健診システム	1式	1,730,000円				
	リストバンド等発行システム	1式	420,000円				
	給食管理システム	1式	750,000円				
	シリンジポンプ	2式	274,000円				
	除細動器	1式	700,000円				
	合計		122,918,200円				
	(2) 資産の処分						
	多項目自動血球分析装置	1式	8,600,000円				
	セントラルモニター	1式	2,500,000円				
	超音波診断装置	1式	2,690,000円				
	超音波プローブ	1式	1,048,000円				
	温冷配膳車	1台	1,323,000円				
	給食管理システム	1式	930,000円				
	健診システム	1式	2,600,000円				
	合計		19,691,000円				
	3. 業務						
	(1) 業務量、患者延べ人数及び1日平均患者数 () 前年度 (単位：人)						
	区 分		内 科	外 科	眼 科	整形外科	泌尿器科
入	延べ人数	(12,422)	(0)	(0)	(0)	(0)	(12,422)
		11,828	0	0	0.0	0	11,828
院	1日平均	(34.0)	(0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(34.0)
		32.4	0	0.0	0.0	0.0	32.4
外	延べ人数	(18,592)	(1)	(826)	(1,388)	(392)	(21,199)
		17,603	1	760	980	390	19,734
来	1日平均	(76.2)	(0.0)	(3.4)	(5.7)	(1.6)	(86.9)
		72.1	0.0	3.1	4.0	1.6	80.8
合	延べ人数	(31,014)	(1)	(826)	(1,388)	(392)	(33,621)
		29,431	1	760	980	390	31,562
計	1日平均	(110.2)	(0.0)	(3.4)	(5.7)	(1.6)	(120.9)
		104.5	0.0	3.1	4.0	1.6	113.2
※ 外来患者数の内、時間外診療607人(内、救急車搬入43件)							

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績								
	(2) 集団検診等の状況				() 前年度 (単位: 日/人)				
		特 定 健 診 等	学校保育所 関係検診	教 職 員 検 診	人 間 ド ッ ク	結 核 検 診	職 場 検 診	その他	計
	日数	(28) 31	(32) 32	(11) 11	(27) 29	(0) 0	(72) 71	- -	(延 170 日) 延 174 日
	実施 人数	(43) 63	(1, 187) 1, 183	(95) 78	(46) 52	(0) 0	(563) 571	(136) 138	(2, 070) 2, 085
	(3) 訪問診療の実績				(単位: 件/人)				
	年度別	対象実人員			訪問診療延件数			備 考	
		男性	女性	計	男性	女性	計		
	30年度	2	2	4	8	24	32		
	29年度	1	3	4	6	26	32		
	28年度	3	2	5	21	22	43		
	27年度	3	3	6	14	17	31		
	26年度	2	4	6	18	30	48		
	25年度	3	5	8	22	35	57		
	(4) 訪問看護の実績				(単位: 件/人)				
	年度別	対象実人員			訪問看護延件数			備 考	
		男性	女性	計	男性	女性	計		
	30年度	4	1	5	149	14	163		
	29年度	3	3	6	92	30	122		
	28年度	4	1	5	39	31	70		
	(5) 事業収益に関する事項				(単位: 千円)				
区分		平成 30 年度		平成 29 年度		比較増減			
医業収益		388, 991		406, 353		△17, 362			
入院収益		204, 199		219, 809		△15, 610			
外来収益		149, 404		153, 599		△4, 195			
訪問看護収益		1, 011		748		263			
その他医業収益		34, 377		32, 197		2, 180			
医業外収益		451, 298		468, 039		△16, 741			
受取利息配当金		15		12		3			
他会計負担金		430, 000		442, 994		△12, 994			
患者外給食収益		211		167		44			
長期前受金戻入		18, 266		21, 261		△2, 995			
その他医業外収益		2, 806		3, 605		△799			
収益合計		840, 289		874, 392		△34, 103			
(6) 事業費用に関する事項				(単位: 千円)					
区分		平成 30 年度		平成 29 年度		比較増減			
医業費用		859, 318		886, 674		△27, 356			
給与費		569, 866		608, 113		△38, 247			
材料費		56, 201		58, 452		△2, 251			
経 費		160, 086		143, 506		16, 580			
減価償却費		69, 292		71, 499		△2, 207			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
	資産減耗費	985	2,123	△1,138
	研究研修費	2,888	2,981	△93
	医業外費用	36,599	29,803	6,796
	支払利息	12,931	13,908	△977
	患者外給食材料費	231	269	△38
	雑損失	23,437	15,626	7,811
	特別損失	0	0	0
	費用合計	895,917	916,477	△20,560
	収支差引	△55,628	△42,085	△13,543
4. 会計				
企業債及び一時借入金の概要				
(1) 企業債				
	前年度末未償還残高	758,621,872円		
	本年度企業債発行額	103,800,000円		
	本年度償還金額	56,776,999円		
	本年度末未償還残高	805,644,873円		
(2) 一時借入金				
大規模な資産の取得（空調設備工事等）や累積欠損金等の影響により、病院事業の現金預金が一時的に不足となったため、事業の運営資金不足を補うため、一般会計から下記のとおり一時借入を行った。				
	借入金額	100,000千円		
	借入期間	平成30年11月20日～平成31年3月4日		